2020年度 活用論文・実践記録集 Vol.23 原稿募集のご案内

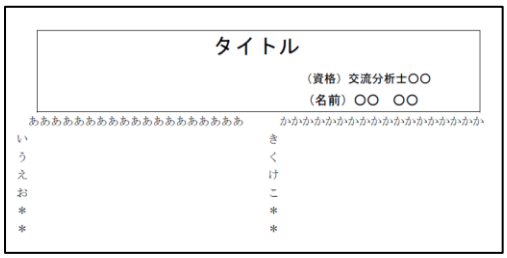
日本交流分析協会関西支部　支部長　小原豊子
論文支援委員会　委員長　山本昭一

2019年度関西支部は支部設立22周年を迎え、「活用論文・実践記録集」第22巻を発行しました。今まで「活用論文集」に投稿された方々はのべ181名となり、皆さん関西支部や全国で活躍されています。

その輝かしい伝統を継承しつつ昨年は、「**論文合評会**」を継続して開催し、「TA実践研究」に投稿される皆さんを支援しました。そして、「TA実践研究」に掲載される方が続いています。

論文作成は「実践記録」から始まります。実践記録は、交流分析を活用している自分史です。活用論文・実践記録集は、実践記録をまとめて形にした貴重な資料です。**交流分析をより深く理解し、実践していこうという皆さんの投稿を、今年もお待ちしています。**

論文を投稿してみようと考えておられる方は、B5のテンプレート（タイトル部分と本文２段組下図参照）を活用してください。



（メールで申し込んでいただいた方には、添付ファイルでそのまま書き込めば良いものを送ります）

また、上位資格（教授・准教授）の取得を目指しておられる方は、下記の□に「✓」をご記入ください。論文支援委員会が応援させていただきます。どうぞ、お気軽にご相談ください。

記

募集対象　関西支部会員（資格は問いません）
※交流分析を活用している経験を、実践記録・活用論文にまとめてみようという会員
投稿締切日　2020年５月17日（土）〔６月７日支部大会に参加された方に贈呈します〕
投稿の範囲　交流分析（周辺理論の心理学等も含みます）の活用、実践及び研究
投稿文字数　B5サイズ10ページ以内（Word原稿を事務局にメールでお送りください）
テーマ提出　投稿を考えておられる方は、仮テーマと氏名を事務局にお知らせください。
※申込者には、ﾃﾝﾌﾟﾚｰﾄ（文字見出しゴチック11p 本文明朝10.5p 英数字Century）を送ります。
※個人情報の扱いやレイアウトの変更を、　投稿者に確認の上で行なうことがあります。
※投稿された原稿を他に投稿することを制限しません。

申し込み（ 関西支部事務局　FAX.06-6375-1002　または メール：info@takan31.com ）

お名前		連絡	（　　）
メール	@	会員資格	
仮テーマ			□ 上位資格取得希望

※いただいた個人情報は、活用論文・実践記録集の連絡以外には使用いたしません。